

ジオパークで
地域に活力を!!

ジオパーク推進だより

下仁田町自然史館
下仁田町大字青倉158-1
☎70-3070 FAX67-5315
<http://www.shimonita-geopark.jp/>

行事予定

下仁田自然学校主催の野外観察会「クリッペをじっくり見る」が下記日程で開催されます。
ふるってご参加ください。

【日時】 9月13日(日)9:00~12:00

下仁田町の南にそびえる跡倉クリッペの山々は、見学者の興味を引くさまざまな現象を見せてくれています。今回は蒔田地区内の沢にそって歩き、クリッペの東の端を調べます。クリッペのすべり面や、断層による小さな滝などみどころいっぱいコースです。

【日時】 10月3日(土)9:00~12:00

クリッペの西の端を見ます。南牧川に添った地域・宮室~中ノ萱を歩き、中の萱礫岩を中心に観察します。

【集合場所】下仁田町自然史館

動きやすい服装でお越しください

主催 下仁田自然学校 共催 下仁田町

行事報告

■夏の子供ジオパーク探検教室

毎年恒例の夏の子供ジオパーク体験教室が開催され、町内外から子どもたちが集まり、ボランティアの大学生引率のもと、自然探検を楽しみました。

2日間の探検教室では、南牧川の生き物観察やサンスポーツランドから阿唱念の滝までの登山などを行いました。特に今年は自然史館でカブトムシを生育しており、そのカブトムシの観察時には参加した子どもたちも大喜びしていました。

■荒船風穴周辺の樹木の名札付けを行いました

7月22日(水)町内の子供たちと日本ジオパーク下仁田応援団で荒船風穴周辺の樹木の名札付けを行いました。

子供たちや応援団員の活躍で、たくさんの木に名札が付けられました。また活動の中で応援団の里見哲夫団長による植物の説明も行われ、参加者全員、真剣に耳を傾けていました。

当日作業に当たった地域の子供たちや日本ジオパーク下仁田応援団、材料を提供していただいた下仁田町森林組合や大宮製材所など多くの方のご協力のおかげで、名札付けが行うことができました。ご協力ありがとうございました。



ネギとコンニャク・ジオパーク

空から大地を見てみよう

みなさん「ジオアート」をご存知ですか?

ジオアートとは空から見た下仁田の大地の素晴らしさがポスターになったものです。

空から地形を見下ろすことによって、地上では近すぎて一部しか見えていなかった地形の全貌がわかります。

役場、下仁田町自然史館にジオアートのタペストリーが展示してあり、開館中はいつでも見ることができます。販売もしていますので、お気軽にお問い合わせください。

※下仁田町自然史館では、午前9時~午後4時まで展示室を開放しています、ぜひお出かけください。※9月の休館日は6日・20日です

問合せ先 産業観光課 観光振興係(下仁田町自然史館) ☎70-3070

ジオパーク応援団だより

第2号 | 2015.9.1

—郷土に輝く盲目の教育者・瀬間福一郎先生—①

里見哲夫

下仁田町に、盲教育に生涯を捧げた立派な人がいたことを知って驚きました。「群馬県史」、
「群馬県教育史」にその業績が紹介されています。今まで話題になったことがありません。今年
が県立盲学校創立110周年に当たります。同校の創立に尽力した盲目の教育者です。

今月号から4回に分けてご紹介します。

1 はじめに

下仁田町民で、盲目の教育者・瀬間福一郎先生を知る人は何人いるだろうか。私も今まで教育
行政に席を温めていながらこの事実を全く知らなかった。実は、2015年の1月半ばのこと、ふ
るさとセンターに県立盲学校からの紹介文書が届いていた。このことで私の所にも話が届いてき
たのである。何と初耳、全く知らなかったことをただただ恥じっている現況である。ちなみ
に、もしやと思って群馬県教育史に当たって見たところ、「群馬県教育史第二巻P. 307、6盲啞
教育とへき地教育(1) 盲啞教育」欄に瀬間福一郎先生の記述を見つけた。夢中で読み進めたところ
何と本県の盲教育の創始的人物であった。当時の書物を見ると「廃人教育」の記述がされてい
る。今こんな言葉を使ったらどんなことになるだろうか。これは今から100余年前のことである。
ともあれ、瀬間福一郎先生がどんな人で、どのように盲人教育にかかわって来たかを探ってみ
ることとした。

2 生い立ち

年譜を追ってみると、1877年（明治10年）に馬山村中島の裕福な農家に生まれている。幼
くして母は離婚、5才の時に失明している。次の母を迎え妹が生まれたが、直後に亡くなってし
まった。三人目の母には子どもが授からなかったという。不幸を背負いながらも、家族の温かい
愛に恵まれて、小学校へ入学の時を迎えた。だが、友達はみんな小学校へ通っているのに、ど
うして自分だけ学校へ行ってはいけないのかと悩み続けたようである。親としてもこれほど悲しく
辛いことはなかったかと思う。当時としては身体に障害を持っている人に対しての教育は全く確
立されていない時代であった。（次号に続きます）

【季節の花】彼岸花

ヒガンバナ(一名・マンジュシャゲ)。古い時代に中国
から渡来したといわれています。

彼岸の頃に人里で真っ赤な花がみられます。

しかし、実はできません。開化時には葉がありません。
この植物の方言は全国で1,000語もあります。

下仁田町での方言名にはどんな名がありますか。
教えて下さい。



下仁田ジオパークの魅力をPR

たくさんの方々に下仁田の観光、下仁田ジオパークの魅力をPRさせていただきました。ご来場いただいた皆様には、ほんとうにありがとうございました。



↑ 文京朝顔・ほおずき市

7/18(土)・文京区

お世話になった文京区観光協会・実行委員会・源覚寺ほか関係各位に深く感謝を申し上げます。

下仁田町の観光・ジオPR→

7/26(日)・銀座ぐんまちゃん家
町観光協会・道の駅しもにた・(株)ウエハラ・ぐんまちゃん家ほか関係各位に深く感謝を申し上げます。

ぐんまちゃんには、ハンマーと応援団員募集のパネルを持っていただき、応援団のPRもしていただきました。

これからも積極的にPRさせていただきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



行事案内 (9月)

9/9(水) 13:30~15:00	かぶら文化講座 「世界ジオパークをめざす下仁田を応援」 (本多優二さん)	下仁田町公民館	かぶら文化講座については、広報しもにた(8月号)をご覧ください。皆様のご来場をお待ちしています。
9/12(土) 一日	バイブレーションテーブル ブース出展・観光・ジオPR	こんにやく 体験道場内	下仁田に音楽があふれる一日、皆様のご来場をお待ちしています。
9/15(火)~ 9/18(金)	日本ジオパークネットワーク(JGN) ガイドフォーラム	京丹後市	応援団から3名が参加予定。
9/20(日) 8:00~10:00	下仁田ジオパークの日 清掃美化活動	長源寺橋下ほか	集合:自然史館(ポリ袋等は用意します。作業に適した服装でご参加ください)
9/20(日) 一日	さんま祭り 観光・ジオPR	目黒区	皆様のご来場をお待ちしています。

応援団員の皆様へのご連絡について

毎月発行される下仁田町の広報紙「広報しもにた」で、応援団の活動、行事等をご案内させていただきます。「広報しもにた」は、町のHPでもご覧いただくことができます。

「広報しもにた」をご覧いただき、ご都合がよいときにご参加いただければ幸いです。

よろしくお願いいたします。

行事等への参加申し込み・問い合わせ先 下仁田町自然史館
下仁田町大字青倉158-1 ☎70-3070 FAX67-5315

《あとかき》

「紫陽花を育てる会」のご活躍により、今年のアじさい祭りも大成功となりました。

全国的にみれば大規模なアじさい園はありますが、草刈からアじさい祭りの運営まで、地元住民がボランティアで行っているアじさい園としては、日本一のものといつてよいでしょう。

これからは「地元住民がつくりあげた日本一のアじさい園」で発信したらいかがでしょうか。